

# JFIC 賛助会員のみなさまへ 2016年度活動報告

2016年のJFIC賛助会員制度へは、個人会員24名、企業・団体会員5団体からのお申し込みをいただきました。

おかげさまで、12月の全日本選手権大会までの活動を滞りなく遂行できましたこと、厚く御礼を申し上げます。

2017年も変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 会員一覧（※敬称略、五十音順）

### ・個人会員・

青戸 公一	芦田 史朗	芦田 朋宏	池尻 宏之	井上 徹
植本 昌之	岡戸 義雄	阪本 博美	佐藤 康彦	佐藤 善治
妙中 義之	武川 健	玉井 利一	辻 克之	時倉 宗大
畑 仁	濱田 美穂子	速形 朱美	平田 芳隆	藤田 洋介
藤本 浩	松澤 克	松田 鋼	山本 勝敏	

### ・企業・団体会員・

川村義肢株式会社      スポーツBRABDEX      東京工業大学OB      パシフィックサプライ株式会社      マツヨシ産業株式会社

## 7月9日(土) チャンピオンズカップ サイクルサッカー

### (世界選手権等派遣代表選考会)

優勝	RSV大阪	村上 裕亮 / 岡嶋 紘次
準優勝	舞馬	安井 英己 / 大野 和俊
第3位	VfH東京1	松田 鋼 / 山縣 智
第4位	ダンシンググレープス	満留 大暉 / 西光 券人

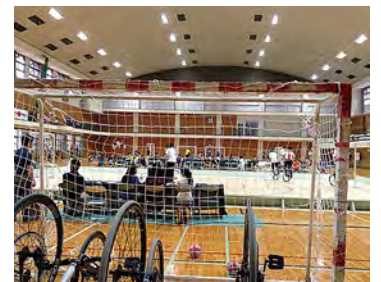


### サイクルフィギュア (シングル)

U15 女子	優勝	國久 結希乃	滋賀C.F.C ブルーレイクエンジェル	57.67 pts
	準優勝	大幡 心	滋賀C.F.C ブルーレイクエンジェル	50.65 pts
	第3位	笹島 菜花	滋賀C.F.C ブルーレイクエンジェル	46.99 pts
Elite 男子	優勝	中川 凱公	滋賀C.F.C ブルーレイクエンジェル	83.68 pts
Elite 女子	優勝	近藤 菜月	滋賀C.F.C ブルーレイクエンジェル	85.69 pts
	準優勝	佐藤 凧沙	京都産業大学	66.81 pts

翌日にサイクルサッカーワールドカップ併催の為、会場は桃山学院大学総合体育館、メインアリーナをお借りし、明るい空間を広くとらせていただきました。

8月のアジア選手権を見据え、サイクルフィギュアにはカテゴリを設けてほしいとの希望があり、エリートとU15を分けて実施しました。これにより、若年層の緊張感ある演技を見られたと思います。



②

## 7月10日(日) サイクルサッカーワールドカップ アジアラウンド



1	RC Winterthur	Marcel Waldispühl / Peter Jiricek
2	RSV Osaka	Yusuke Murakami / Koji Okajima
3	VC Cronenbourg	Jacques Ohl / Stephane Bauer
4	VfH Tokyo 1	Ko Matsuda / Tomo Yamagata
5	VfH Tokyo 2	Satoshi Tanaka / Ken Hirano
6	Star Bicycle Osaka	Hiroki Sugitani / Katsuya Tanaka
7	Hong Kong 1	Wing Tai Ho / Chun Tin Kwan
8	Mauba	Hideki Yasui / Kazutoshi Ohno
9	Johore Bahru	Mohd Zikri Dahalan / Muhd Khairul Azhar
10	Hong Kong 2	Chun To Tsui / Wing Sun Mak

大学の体育館を使用するにあたり、学生にメリットのある活動を、ということで、スイスチーム到着日に学生向けのトレーニング時間を作りました。イリチェックさんがキーパーを育てようとしていたことが特に印象に残っています。テクニカルデリゲートまで参加しての円陣パスや攻撃練習は、見ているだけでもワクワクしました。またこの様な機会があれば、たくさんの選手に共有してもらいたいと思います。



## 8月6日(土): アジア室内自転車競技選手権大会(香港)

サイクルサッカー	優勝: 村上裕亮(RSV大阪)・西光拳人(ダンシンググレeps)
サイクルフィギュア	
・シングル女子Elite	3位: 近藤菜月(Blue Lake Angels) 4位: 佐藤凧沙(京都産業大学)
・シングル女子U15	優勝: 國久結希乃(Blue Lake Angels)
・シングル女子U13	4位: 笹島菜花(Blue Lake Angels)
・シングル男子Elite	5位: 中川凱公(Blue Lake Angels)



## 8月7日(日): 香港オープン

サイクルサッカー	3位: 村上裕亮(RSV大阪)・西光拳人(ダンシンググレeps)
サイクルフィギュア	
・シングル女子Elite	3位: 佐藤凧沙(京都産業大学)
・シングル女子U15	優勝: 國久結希乃(Blue Lake Angels)
・シングル女子U13	3位: 笹島菜花(Blue Lake Angels)
・シングル男子Elite	9位: 中川凱公(Blue Lake Angels)



初めて海外遠征する選手が3名参加、昨年よりもさらに若いチーム編成で挑みました。サイクルサッカーはイレギュラーなチームでしたが、アジア選手権で見事に優勝、アジア圏トップの座を守りました。サイクルフィギュア U13・U15 に出場した選手達は、同年代の中でメダルを獲得し、自信に繋がったことと思います。

今大会には香港の助力により、タイ国からの参加がありました。また、大会の前後には香港やマカオで合宿や審判講習会が開催されており、活発な活動のほどが伺えます。

## ドイツ合宿 — 東京工業大学3年 赤津 陸 選手のレポート —

私たちは8/7～13にフランクフルトで行われたサイクルサッカー・サイクルフィギュアの強化合宿に参加してきました。この合宿はドイツ自転車連盟が毎年主催しており、ドイツのジュニアを中心にイギリス、ハンガリー、ウクライナなど各国の若手の選手が総勢100名程度参加しました。今回は連盟からその案内があり、計10名が参加するに至りました。この合宿に日本の学生が参加するのは6,7年ぶりです。



この合宿ではただ自転車に乗って練習するのではなく、様々な種類のトレーニングを行いました。

毎朝まずジョギングがありました。10分程度ですが、コーチの気まぐれで選ばれた人たちは30分近く走ります。私は運が良いのか悪いのか初日に選ばれてなかなかの距離を走り、毎日こんなに朝から走るのかと少々焦りました。

◀このような林道を走りました  
(ジョギングの写真撮り忘れてました)

1日の流れとしては、午前、午後、夕食後に練習がありました。初日に4つのグループに分けられ、基本的にそのグループでトレーニングをします。私のチームのコーチはなんと世界チャンピオンのパトリックでした。ドイツ語がわからない私たちに丁寧に英語で説明してくれて、とても優しい人でした。

午前中は半分のグループがグループ内で試合を、残り半分はエクササイズや筋トレです。

試合はコーチ陣が見ているなかで行われ、ほとんどのチームに私たちは負けてしまいました。ドイツジュニアは自転車に乗り慣れていることやボールの扱いが上手いだけでなく、試合の組み立ても上手かったです。

試合の様子▶



この午前中のエクササイズや筋トレでは、サイクルフィギュアのコーチの指導のもとでさまざまな種類のメニューを行いました。なかなかきついもので、合宿の前半は特に筋肉痛に悩まされました。

エクササイズの様子▶



午後は午前中同様の試合や5on5、水泳などを行いました。5on5は体育館全体を使って、通常の2対2ではなく5対5で試合をするもので、2対2同様に細かいルールが実は存在しています。1チーム5人いるのでサッカーのようにいろいろな方向へのパスが繋がり、戦略の幅が広がり予想よりも楽しかったです。広いコートを上から下まで走るので、ダッシュが速くなった気がします。また、5on5は10人プレーヤーと広いコートが必要のため日本では行うことが難しく、貴重な経験でした。

5on5▶



3日目の午後にはスイミングを行いました。水泳としか聞かされていなかったのですが、50m プールを往復するのかと覚悟していましたが、ウォーターライダーや飛び込み台があるプールまで行き、自由行動でした。日本人はみな飛び込みをしたことがない人が多く、はしゃいでいましたが、ドイツ人のほとんどは水には入らず日光浴していました。

#### スイミング▶

夕食後の練習では、サッカー、バレーボール、水泳などさまざまなスポーツを楽しみました。2日目には芝生の上で5対5の試合を行いました。日本では当然やったことはなく、考えたこともない練習でした。強く踏み込むとすべるため、見た目以上に難しいものです。また、5日目にはドイツ、オーストリアのトップ選手の試合を間近で観戦できました。

#### ▼芝生の上でのサイクルサッカー

#### バレーボール▲



#### ◀Hochst vs Stein

最後の日の夜はパーティーがあり、多くの外国のジュニアと話すことができた。

ドイツ合宿の全体的な雰囲気として、トレーニングばかりの強化合宿というよりも「サイクルサッカー・サイクルフィギュアのみならず色々なことを楽しもう」というもので、ドイツ語がわからない日本人でも楽しく参加することができた。話には聞いていたが海外のジュニアとのレベルの差を感じ、日本では得られない刺激を受けた。

#### ◀最後の日のパーティーの様子

(コーチ陣が合宿中に私達にやらせていたトレーニングを前で行っています。)



## ー 参加者各々のコメント ー

大阪大学 3年 石川

言語とは何か。私は、ドイツの店でひとり悶々と考えた。ある思考に対してそれを伝達する手段として我々人間には言語が与えられている。しかし、それは不完全であり言葉というフィルターを通して、その真意は削ぎ落とされていく。言語が違えばそれは尚更である。言葉という手段がこれほど不完全であるのかということをも身をもって体感したのであった。

大阪大学 3年 シキ

「Why you're so little?」これが合宿のハイライトです。13歳のプレーヤーからかけられた一言です。(因みに私は160cm)ヨーロッパの人たちはとにかくカラダの規格が違いました。

大阪大学 3年 高橋

ドイツ合宿に行き僕はこれまでの疑問が解決したり、疑問が新たに浮かんだりしました。

解決した疑問は、なぜ外国の選手たちはあんなにも技術があるのか、なぜあんなにも強烈なシュートが打てるのか、なぜあんなに体が大きいのか、答えは全て単純でした。

新たな疑問はなぜ男の子も女の子もこんなにも顔が大人びているのか、なぜドイツの水はこんなにも美味しくないのか、ということです。

関西大学 4年 森本

5on5。サイクルサッカーのコート4面分はあるようなコートで試合をした。広いコートの中を必死でボールを追いかけるドイツの選手たちはものすごいスピードだった。僕たちと同じ自転車に乗っているとは思えなかった。全員3試合行ったがおそらく得点王は僕と大阪大学の石川だった。

関西大学 3年 林

今回の合宿では自分の基礎体力(主に筋力)の向上の必要性を痛感しました。現地ではもちろんサイクルサッカーのトレーニングを行いました。他にも筋力トレーニングやエアロビといった自転車に乗らないトレーニングも重点的に行ったからです。また、現地には自分より小柄な体格のジュニア選手もいましたが、自分よりも機敏に、そして器用にプレーを行っていたのを見たことも理由です。

現地での経験を普段の練習にも活かして、自分及び大学の技能の向上に努めたいと思います。今回の合宿では本当に貴重な経験ができました。

東工大 3年 赤津

ドイツのジュニアとは体格、練習環境、サイクルサッカーを始める時期などすべてにおいて歴然とした差を感じました。自転車に乗る練習だけでなく、筋トレをしてサイクルサッカーに必要な最低限の筋肉をつける必要があることを痛感しました。

また、世界にはこんなにもサイクルサッカープレーヤーがいるものなのかと事実では知っていても、実際見ると新鮮でした。また世界戦の動画に出てくる人たちの試合は間近で観ると、ものすごい迫力で感動しました。

サイクルサッカー、言語、価値観と多様な面で考え方が変わる合宿でした。

東工大 3年 高尾

今回のドイツ合宿が自身の初の海外渡航であったため、現地の人とのコミュニケーションや食事などの文化すべてが新鮮で貴重な体験でした。今回の合宿で特に感じたことは、言葉の壁があってもスポーツを通じて互いに分かり合い楽しむことができるということです。今回、サイクルサッカーを通じてこのような素晴らしい体験をさせていただいたことに感謝しています。

立命館大学3年 清水

ドイツ合宿に行ってみて日本とヨーロッパの差は競技レベルだけではないことが理解できました。あっちの人たちは楽しみ方がぶっ飛んでいました。普段の生活からサイクルまで明るく楽しみながらやっているのがビンビン伝わってきます。そういう楽しめる雰囲気があると人も寄ってくるので日本でもサイクルサッカーをもっと皆が楽しんでやるようにしていきたいなと切実に思うようになりました。

立命館大学2年 那須

合宿所到着後に自転車を組み立て、お昼を食べに食堂に指差しで注文するとポテトを10個ほどいれられドイツの洗礼を受けました。練習では基礎の部分での差を一番感じた、現地の人たちとは片言ではあるが会話ができ通じ合えた。日本とは環境や周りの自転車に対する思いが違い日本の手本になる場所でインスピレーションを受けました。

近江高等学校2年 近藤

いつか参加したいと思っていた国際トレーニングキャンプに、多くの方からのご協力、お力添えにより実現することが出来ました。

トレーニングでは自分よりずっと難しい技を練習している同年代の選手や別の国の選手の練習を間近で見て、本場であるドイツのコーチに直接教わり、たくさん気づいたことや刺激を与えられました。

この経験を生かし日々トレーニングや練習を頑張ります。

以上が日本から参加した選手達のコメントです。このほかドイツ在住の芝山選手と、濱田コーチが参加しました。

## 9月15日(木)～24日(土):ドイツU19チーム来日、ジャパンカップ2016



今年は日程の半分が東京滞在になりました。ここ数年恒例となっている奈良県の養護学校や、たちかわクラブへの訪問、また JCF への初の表敬訪問が実現しました。

ジャパンカップでは、昨年までエキシビションとしていたドイツチームのサイクルフィギュアを試合形式で行いました。審判の技術力向上にも不可欠な大会です。サイクルサッカーは日本のチームが優勝、ジャパンカップを名実ともに取り戻すことができました。10 日間の日程、みなさまのお力添えに感謝いたします。

サイクルサッカー

優勝：RSV Osaka (村上 裕亮 / 岡嶋 紘次)  
準優勝：RV Gärtringen (Dennis Berner / Patrick Bühler)  
3 位：RVC Prechtal (Simmon Wisser / Patrick Volk)  
4 位：RV Kemnat (Jonas Balz / Dominik Schmidt)

サイクルフィギュア

・シングル女子  
優勝：Lara Füller (RKV Poppenweiler)  
準優勝：Lena Günther (RV Nufringen)  
3 位：佐藤 凧沙 (京都産業大学)  
4 位：近藤 菜月 (滋賀ブルーレイクエンジェル)  
5 位：國久 結希乃 (滋賀ブルーレイクエンジェル)  
6 位：大幡 心 (滋賀ブルーレイクエンジェル)  
・シングル男子  
優勝：Max Maute (RSV Tailfingen)  
準優勝：Nick Lange (RSV Unterweissach)  
3 位：中川 凱公 (滋賀ブルーレイクエンジェル)  
・ペアオープン  
Mattias Quecke / Michael Quecke  
(RMSV Bad Schussenried)

## 11月12日(土): サイクルサッカーW杯ファイナル @スイス / ヴィンタートゥール

世界選手権にも名を連ねる選手が揃いぶむワールドカップファイナル。今年は世界選手権より早い開催のため、RSV 大阪は遠征の日程を長めに取り、現地でのクラブチーム訪問など、世界選手権を見据えた調整を行っていました。

- |                  |                                       |
|------------------|---------------------------------------|
| 1. RC Höchst 1   | Patrick Schnetzer / Markus Bröll      |
| 2. RC Höchst 2   | Simon König / Florian Fischer         |
| 3. RC Winterthur | Marcel Waldispühl / Peter Jiricek     |
| 4. RMC Stein     | Gerhard Mlady / Bernd Mlady           |
| 5. RS Altdorf    | Roman Schneider / Dominik Planzer     |
| 6. RMV Pfungen   | Severin Waibel / Benjamin Waibel      |
| 7. RV Obernfeld  | Andre Kopp / Manuel Kopp              |
| 8. RV Dornbirn   | Martin Lingg / Daniel König           |
| 9. SC Svitavka   | Jiri Hrdlicka / Pavel Loskot          |
| 10. RSV Osaka    | <b>Yusuke Murakami / Koji Okajima</b> |

## 12月2日(金)～4日(日): 2016UCI世界室内自転車競技選手権大会 ドイツ/シュトゥットガルト PORCHE ARENA

### ◆サイクルサッカー

村上 裕亮・岡嶋 紘次 (RSV 大阪) Bリーグ全勝優勝

日本 - カナダ: 8-0

日本 - マレーシア: 7-0

日本 - 香港: 8-1

日本 - ハンガリー: 7-4

日本 - スペイン: 6-1

7年ぶりのグループA,B入れ替え戦に進出しましたが、ベルギー相手に2-5で敗戦、昇格は叶いませんでした。



村上選手・岡嶋選手、ついに表彰台の中央へ!

### ◆サイクルフィギュア ※点数は「得点 / 申請点」

男子シングル

芝山 耕輔 (TSG Sonnenberg) 76.65 点 / 101.80 点

中川 凱公 (ブルーレイクエンジェル) 75.21 点 / 108.80 点

女子シングル

近藤 菜月 (ブルーレイクエンジェル) 81.30 点 / 109.00 点

佐藤 凧沙 (京都産業大学) 77.04 点 / 105.90 点

佐藤 凧沙 (京都産業大学) が難度の高い技を組み込んだ演技で大会自己ベストスコアを大きく更新しました。



スピンを決める佐藤選手

### ◆選手団メンバー各々のコメント



天候に恵まれた今回の大会。選手の皆さんの意気込みを、身近に感じながら、私も色んな意味で勉強させて頂きました! 有難うございます!!!  
浜田美穂子 (コーチ)



世界選手権を終えて世界のトップの人に比べたら自分の演技は技の難易度が違ったり、減点が多く安定していなかったのもまだまだと感じました。  
中川凱公 (選手: サイクルフィギュア)

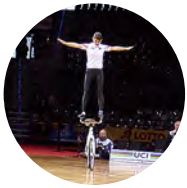


試合会場の盛り上がりはすごかったが、私の中では練習会場での各国の代表チームの練習の方が印象的だった。試合の中では見れないことが多く見れた。  
試合後のパーティでスイス代表チームと写真を撮った。日本だと私自身大きい方だと思っていたが、この2人の隣に立つと小さく見える。2人に挟まれ、肩を組まれると押しつぶされそうになった。  
森本晋也 (スタッフ)

⑧



初めて世界選手権の派遣メンバーとして参加し、とても貴重な経験をさせていただきました。グループA昇格のためには、日本全体のレベルアップが不可欠であると感じたので、日本サイクルサッカーのレベルを上げていく活動にも力を入れていきたいと思います。  
安井英己 (サポート選手: サイクルサッカー)



今年で8回目の世界選手権。  
本番に向けて最終調整を直前の合宿でできました。ミスをしてしまったけれど、後悔なく世界選手権を終えることができました。サポートしてくださった方々に感謝しています。  
佐藤凧沙 (選手: サイクルフィギュア)

いつも応援サポートありがとうございます。世界選手権3度目のファーストチームで初めてBリーグの頂点に立つことができました。私が初めて日本代表セカンドチームで合田選手(大学同期・元ペア)と世界選手権に行かせて頂いた時もシュトゥットガルトのポルシェアリーナでした。あの時この舞台上で戦える羨ましさ、絶対ここにファーストチームに戻ってくると誓ったことは今でも覚えています。今年はその舞台上で挑戦できる嬉しさと高揚感を覚え初戦を迎えました。その舞台上で優勝することができとても嬉しかったです。入替戦のベルギー戦では、力を発揮することの難しさを改めて感じさせられました。今回の勝因は、ヨーロッパ遠征のスイス、ドイツでサイクルサッカーの仲間たちが日本チームをサポートしてくださった事が要因です。親善試合や練習の機会を作ってくださいました。多くの方が日本チームをサポートしてくださっている事を皆さんにも知っていただきたいです。日本で応援してくださった皆様、日本選手団の皆様、そして現地でサポートしてくださった日本ファンに感謝します。いつも遠距離の中一生懸命競技に向き合ってくれている相方の岡嶋、コーチの宮川さん、宮本さんに感謝申し上げます。これからも日本サイクルサッカーを盛り上げていけるようにより努力していきます。今後とも応援サポートよろしくお願い致します。  
日本代表 RSV大阪 村上裕亮 (選手: サイクルサッカー)

日頃より室内自転車競技をご支援頂き誠にありがとうございます。今年の世界選手権はBリーグ優勝となりましたが、Aリーグへの入替戦は負けてしまいAリーグ昇格とはなりませんでしたが、Bリーグ最終戦の対スペイン戦は2年連続惜敗している相手でしたが、練習で最も意識をして取り組んだパスワークで相手のリズムを崩し快勝することができました。Aリーグとの入替戦対ベルギー戦は序盤に日本のミスで失点を許しそのリードを詰められず敗戦となりました。今後の課題として攻撃面では更なるパスワークの向上、スペースの利用、あらゆるスピードの向上が挙げられます。また守備面では攻守切替のスピード、一対一のキーパー力向上等が挙げられます。このほかにもまだまだ多くの課題がありますが日本の競技レベルも確実に向上していると感じております。しかし現在世界各国の競技レベルも上がっており、私達日本選手も更なる競技レベル向上が必要です。今後もトレーニングに励みAグループ昇格へ向け日本選手一丸となって競技に取り組んでいきましょう。最後に今大会への派遣に当たりご支援頂いた多くの方々に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。  
岡嶋紘次 (選手: サイクルサッカー)







今回は二度目の世界選手権でした。やはりレベルが高く技の一つ一つが綺麗で、私と同じ技をやっている安定感などが全然違うように思えました。  
近藤菜月（選手：サイクルフィギュア）



サッカー B グループ優勝とレベルアップ（難度の高い演技内容）したフィギュアの結果は、メンバー各々がその役柄を真摯に成し遂げた井上ジャパンのチーム総合力であり、更なるこの先の心強さを感じた大会でした。  
佐藤康彦（コーチ）

成功率が低い技を本番で成功できたり、練習ではほとんど時間内にできなかったのに本番では時間内に最後の技までできたり良かった点もありましたが、1番失敗してはいけないう技を失敗したり、普段失敗しないような技を失敗してしまった点が残念でした。  
芝山耕輔（選手：サイクルフィギュア）



多くの方に助けていただきました。お力添えありがとうございました。これまでの日独交流で来日したドイツの元ジュニア代表選手が、国の代表となり、世界チャンピオンになる光景を目の当たりにしました。同じ舞台に立つ選手達を誇りに思います。世界選手権に同行させていただくのは4年目になりますが、初めての「3日目」を経験しました。嬉しかったです。  
阪本博美（スタッフ）



#### 世界選手権雑感

ドイツ、シュツツガルトの世界選手権にチームリーダーとして参加した。6年ぶりのシュツツガルト、鹿児島以来5年ぶりの世界選手権となる。選手特にACの選手は顔ぶれがガラリと変わったように思う。CBの選手もずいぶん変わっていた。その中でハンガリーのコーチが片言の日本語で話しかけてくれたりする。他の国のコーチも「コンニチハ」とあいさつをしてくれる。先人たちの残した足跡を感じた瞬間であった。

さて、試合の方はどうであったか。CBはグループBで一位となり入れ替え戦に臨んだが、ベルギーに 2：5 で敗れ、グループAに昇格できなかった。グループBとグループAには歴然とした差があるもののベルギーには勝機があったものの村上・岡嶋組の序盤に失点するという悪い面が出てしまった。

ACは昨年と同じメンバーであったが佐藤選手のみが昨年以上の成績を残したが、他の選手は総じて低調であったように思う。高校生の二人にはより高いステージを望みたい。

総じて、大野君の肋骨骨折というアクシデントもあり残念な大会となったが、参加された選手、コーチ、スタッフのおかげで無事帰国できたことに感謝したい。

2016年世界選手権派遣団  
チームリーダー 井上 徹



7年ぶりにBグループで優勝できたことは喜ばしいことであったが、あくまで目標はAグループ昇格であり、それを達成できず残念であった。

ベルギーとの入れ替え戦は、全く歯が立たなかった試合だったとは感じていない。日本が勝てる可能性は十分にあったと思う。

今後も国内の競技レベルの向上に貢献し、日本のAグループ昇格に向けて努力していきたい。

大野和俊（サポート選手：サイクルサッカー）

## サイクルフィギュア(※上位4名はファイナルの結果)

## 男子シングル

1	Lukas KOHL	GER	199.43
2	Michael NIEDERMEIER	GER	192.32
3	Yannick MARTENS	SUI	186.51
4	WONG Chin To	HKG	174.68
5	Lukas BURRI	SUI	156.55
6	Tomáš ROZBORIL	SVK	145.73
7	Jakub MAŠEK	CZE	140.14
8	Csaba VARGA	HUN	139.63
9	Marcel SCHNETZER	AUT	139.36
10	Martin SCHÖN	HUN	133.59
11	Loïc JACOB	FRA	124.10
12	Jean CARMIER	FRA	123.64
13	Christopher SCHOBEL	AUT	121.47
14	Marco GIORGIO	ITA	100.09
15	Tibor-Istvan SOKOR	UKR	89.23
16	CHAN Hou Pong	MAC	88.28
17	Kristian GEI	UKR	87.53
18	Lorenzo VANDROPE	BEL	85.07
19	<b>SHIBAYAMA Kosuke</b>	<b>JPN</b>	<b>76.65</b>
20	<b>NAKAGAWA Yoshimasa</b>	<b>JPN</b>	<b>75.21</b>
21	Mohamad Iezuan JAMIAN	MAS	58.97

## 女子シングル

1	Lisa HATTEMER	GER	178.33
2	Viola BRAND	GER	173.75
3	Nicole FRÝBORTOVÁ	SVK	166.59
4	Julia WALSER	AUT	146.36
5	Melanie MÖRTH	AUT	148.51
6	Nathalie WALTER	SUI	147.10
7	Seraina WAIBEL	SUI	144.99
8	Isabella ZÜBNER	ITA	129.01
9	Jeannette LYONNET	FRA	113.31
10	Valentine RIEB	FRA	109.87
11	Tatika BOVENDAERDE	BEL	106.66
12	LUK Wing Yi	HKG	96.39
13	Tamaris Franke FONTINHA	POR	94.41
14	Jennifer SCHROOTEN	NED	90.45
15	Zsófia HUGYECZ	HUN	82.67
16	<b>KONDO Nazuki</b>	<b>JPN</b>	<b>81.30</b>
17	<b>SATO Nagisa</b>	<b>JPN</b>	<b>77.04</b>
18	Lina NAGY	HUN	73.17
19	CHEONG Choi Peng	MAC	67.11
20	Brenda SCHROOTEN	NED	54.22
21	Clémence BOSSÉ-AUDET	CAN	37.59
22	Daphnée DELISLE	CAN	25.01

## サイクルサッカー総合

1	AUT	Patrick SCHNETZER	Markus BRÖLL
2	SUI	Roman SCHNEIDER	Dominik PLANZER
3	GER	Gerhard MLADY	Bernd MLADY
4	CZE	Jirí HRDLICKA	Pavel LOSKOT
5	FRA	Benjamin MEYER	Quentin SEYFRIED
6	BEL	Brecht DAMEN	Niels DIRIKX
7	<b>JPN</b>	<b>MURAKAMI Yusuke</b>	<b>OKAJIMA Koji</b>
8	ESP	Florencio MONGE	Marcel CHAVES
9	HKG	CHAN Ka Kin	LO Man Fai
10	HUN	Vilmos TOMA	Tamas ARENDAS
11	MAS	Mohd Zikri DAHALAN	Tajuddin AHAMD
12	CAN	Jean SAUCIER	Luke LAUZON



12月17日(土)～18日(日):第47回全日本室内自転車競技選手権大会



サイクルサッカー

優勝	蔵前	(藤田 洋介 / 時倉 宗大)
準優勝	RSV OSAKA	(村上 裕亮 / 岡嶋 紘次)
3位	STAR BICYCLE OSAKA 2	(田中 勝也 / 杉谷 嘉紀)
4位	たちかわクラブ	(赤津 陸 / 松田 鋼)

サイクルフィギュア

女子シングル

優勝	近藤 菜月	(Blue Lake Angels)
準優勝	佐藤 凧沙	(京都産業大学)
3位	國久 結希乃	(Blue Lake Angels)

男子シングル

優勝	芦田 史朗	(ALMOSTBLACKS)
準優勝	中川 凱公	(Blue Lake Angels)

サイクルサッカーは、蔵前が悲願の初優勝を遂げました。決勝戦は5-0、対するRSV大阪に1点も許さず、最後まで乱れることなく冷静な試合運びでした。

蔵前、これまでの歩みです。

- 2006：7位
- 2009：3位
- 2010：3位
- 2012：3位
- 2013：3位
- 2014：3位
- 2015：準優勝
- 2016：優勝

おめでとうございます。

サイクルフィギュアは男子シングルで芦田選手が11連覇、女子シングルで近藤選手が2連覇。芦田選手は立ち上がりやや不安があったものの、中盤からはさすがの安定した演技で観客を魅了しました。女子シングルは出場6名中4名が自己記録を更新しました。今後にも期待しています。

年間を通じて、大会にお越しいただいた皆様、そのほか様々な形でご支援くださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



2016年度 国際大会への審判員派遣状況

- |                             |    |                     |
|-----------------------------|----|---------------------|
| ・7月 サイクルサッカー ワールドカップ アジア    | CB | 池尻 宏之 / 畑 仁 / 宮本 武彦 |
| ・8月 アジア選手権・香港オープン           | CB | 松田 鋼                |
| ・11月 サイクルサッカー ワールドカップ ファイナル | CB | 宮本 武彦               |
| ・12月 世界選手権                  | CB | 畑 仁                 |